

システム開発を手掛けるネットワークシステムズの社長、荒井透(61)はインターネット黎明(れいめい)期からネットワーク技術者として活躍。社長就任前から経営企画に携わり、同社の事業改革を裏方で支えてきた。日進月歩の技術変化に対応する組織作りにも長年の蓄積が生きている。



足元の業績は好調だ。19年4～9月期は売上高と営業利益がともに2ケタ成長。前期まで3期連続で増収増益を続け、今期も過去最高の売上高を更新する見通し。従来、通信事業者向けネットワーク構築が主力だったが、近年はクラウド基盤やセキュリティ対策などの事業が拡大している。

荒井は大半の業務に関わってきたが「自分でやったことは少ない」と笑う。人が1人でできることは限られるが、ネットワークをつなぐインターネットのように、人と人が協力し合うことで力を発揮すると確信。つながりを作るのがリーダーの役割と考えている。経歴はIT業界では珍

ネットワークシステムズ社長
荒井 透氏

リーダーの肖像

ネットの「つながり」を力に



あらい・とおる 1981年(昭56年)芝浦工大卒業、三菱電機エレクトロニクス社。高エネルギー物理研究所(現高エネルギー加速器研究機構)、三菱商事などを経て90年にネットワークシステムズ入社。2006年取締役、18年6月から現職。東京都出身。

変革の時代 技術で開く

荒々しさある車が好き

ゲームが好きで休日は妻と任天堂の「スーパーマリオ」シリーズや「スプラトゥーン」などで遊ぶ。車も好きで昔は年間2万5000km近く走っていたが、最近は年齢などを理由に5000km程度にとどめる。ただし今も車種にはこだわりがあり「静かだけれど荒々しさもある」車を好む。社用車は独フォルクスワーゲン「アルテオン」、プライベートでは独アウディ「A1」に乗っている。

1981年、三菱の自動車ぶき装置をサポがはじめていた。これが電機グループの三菱エレベータ施設にマイコン技術者として採用された。荒井はイーサネットをめぐに話せないのに、技術的なコミュニケーションをしなければならぬ。イーサネットは海外に取り残されてしまっている。荒井は必死で取り組む、言葉の壁を乗り越えて提案したり自分の考えを主張したりする姿勢が共有できる。ただし、可能な範囲で最大品質を確保しても品質保証はしなない「ベストエフォート」を身につけていった。エアの能力を養うきっかけにもなった。研究者に物事を伝える場合、細かいことを話してもなかなか理解してもらえないという。「研究者の多く

1981年、三菱の自動車ぶき装置をサポがはじめていた。これが電機グループの三菱エレベータ施設にマイコン技術者として採用された。荒井はイーサネットをめぐに話せないのに、技術的なコミュニケーションをしなければならぬ。イーサネットは海外に取り残されてしまっている。荒井は必死で取り組む、言葉の壁を乗り越えて提案したり自分の考えを主張したりする姿勢が共有できる。ただし、可能な範囲で最大品質を確保しても品質保証はしなない「ベストエフォート」を身につけていった。エアの能力を養うきっかけにもなった。研究者に物事を伝える場合、細かいことを話してもなかなか理解してもらえないという。「研究者の多く

は物事の枠組み(フレームワーク)にしか興味がない」からだ。荒井は試行錯誤を繰り返して、フレームワークを自分で考え伝える能力を磨いた。入所から5年たち、技官の次のステップとして教官になる話が浮上した。さらに産学協同のネットワーク利用研究組織からも声がかかった。しかし荒井は両方の誘いを断り、三菱商事に入社する道を選んだ。企業でネットワークシステムを構築し続けることに魅力を感じた。しかも研究の世界には自分よりも「できる人」がたくさんいる。「ここは僕のエリアではないので民間に行った方がいいと思った」。88年に三菱商事に入社すると、同社が販売代理店を務めていたイーサネットの通信機器を手掛ける米アンガマン・バス(現ノキア)の製品を担当することになった。その流れでアンガマン・バスの日本法人に出向・転籍。さらに、三菱商事と同社が合併で設立したネットワークへと転籍した。

当初、イーサネットは学や一部大手企業の研究機関などに限られていた。しかし92年に商用ネットワークサービスが登場すると普及が加速。ネットワークは、ルーターやスイッチなどのイーサネット通信機器を組み合わせたネットワーク構築で頭角を現した。荒井は通信機器の導入・保守を行う部隊に配属された後、技術開発やマーケティングなどの部門を経て、2000年から社長に指名されるまでの18年間、経営企画畑を歩んだ。ネットワーク技術者としての知識を生かし、海外ベンチャーとの交渉や将来の事業モデルの策定などもこなした。中期経営計画の最終年度である22年3月期には売上高が19年3月期比で約21%増の2200億円、営業利益が同約62%増の210億円という目標を掲げる。あらゆるモノがネットにつながる「IoT」の産業向けや、企業の働き方改革を支援するサービスなどの事業が本格的に成長すると見込む。変革の時代にコンピューターと人をつなぐ荒井の挑戦は続く。

敬称略
(中島 募)